

JA・JENCOリーダーミーティング内容

昨日、2021年6月29日(火)、毎月定期的に行われる創業者参加のリーダーミーティングが行われました。メンバーの皆様へ内容をシェアさせていただきます。情報が行き渡るように今後もリーダーミーティングの内容を文面にてアナウンスさせていただきます。昨日のミーティング内容はあくまでも打ち合わせの内容であり、この「JA・JENCOリーダーミーティング内容」の文面より前に出た文章や録音などの情報は、伝わり方に誤解や内容の誤りが一部あるため、こちらの文面にて正式な案内とさせていただきます。

- ・現状と今後のスケジュール説明
- ・利用している取引業者の状況
- ・払い戻しについて
- ・今後の予定
- ・リーダーからの質問(多数)

最新情報はQRコードから確認ができます。



Jenco

・利用している取引業者から会社の資金が引き出しが出来なくなっている件について
▶6月11日に取引業者から求められたJA/JENCO必要書類を全て提出済み。現時点で回答はまだなし。

・取引業者に対してJubileeグループはどのように対応しているか

▶6月29日に再度文面を提出

文面の内容は、7月31日まで同じ状態が続く場合、預けている全の資金へ5%の利息を取引業者へ請求をする内容。

会社としては、資金を動かさな状況は大きな損失であり、メンバーの皆様の信頼を失う大きな問題と考えており、現在も国際弁護士と相談をしている状況。

・払い戻しについて

▶JENCO優先払い戻しグループ1～3は現金ウォレットに計算され反映されている。

※数字に相違がある方は...以前案内した資料にそってバックオフィスの確認を必ずお願いいたします。金額に相違がある方の申請方法は現在作成中ですのでお待ちください。

・グループ2のアクアウォレットの送金開始時期

▶9月頃を予定

・グループ3のアクアウォレットの送金開始時期

▶2021年の年末頃を目標として動いている

・JA現金クレジットの計算の反映

▶2022年からを目標としている

・リーダーからの質問内容

① 一部の取引業者だけに資金があるわけではないはず、他の引き出せる資金はどうしているか？

回答▶一番多い資金はコモディティの取引業者にあり、ほとんどの資金は引き出せない状態。現在引き出せる少ない資金で会社の運営を行っている。その中には、会社の運営費、AQNの買い支え、他社のAQNのキャンペーンの支払い等が含まれている。※誤解が無いように他社のAQNキャンペーンの支払いは、あくまでも一部であり、ほとんどが創業者個人から出されていると説明、多くはAQNの買い支え等を行っている。

② 払い戻しレートを0.2~0.3ドルで行えない理由は？ 払い戻しのレートを市場価格に近い0.2ドルなどにした場合会社はどんなリスクがあるのか？

回答▶現在のレートに全て合わせることが難しい。理由としては、0.2ドルにするとAQNの枚数に問題が出てきてしまう。会社もレートの差は大きな問題と認識している。

③ BTC/USDTでの払い戻しいつから？ USDTでもらいたい人は紐付けしない方がいいか？

回答▶アクアウォレットからのミキシングが成功すれば早くても今年中にはBTC/USDTでの出金ができるように動いている。現時点で細かい詳細は確定ではないため分かり次第報告。

④ AQNの価格が低いです。会社はどう考えているか？

回答▶大きな問題と考えている。取引業者からの引き出しができないため会社の資金は不足している状況。そのためAQNの買い支えのバランスを慎重に判断している。会社を続けるために今動かせる資金を一気に払い戻しに当てたり、買え支えに割り当てることができない。9月頃に4つ目の取引所を上場予定、AQN価格を上昇させる取り組みをしている。

⑤ PPPの保証は？

回答▶システムが動いていないため現在はPPPの実質保証ができない。PPPはシステムが再開した時の保証であるため現状PPP保証が難しい。
※PPPとは、AQNをJENCO内部で利用する時に市場のレートに関係なくAQNの価格が1ドルを下回らない保証。PPPの保証はJENCOが稼働していた時に適応されるもの

⑥ 取引業者が破綻したときのリスクを考えていますか？

回答▶取引業者からロックだけをされているの状態のため、倒産は非常に考えにくい。ただ全ての可能性はないとは言えないが、取引業者にはたくさんの資金を保有しているため倒産は考えにくいと考えている。

⑦ アクアシステムはどうなっていますか？

回答▶暗号通貨のアービトラージの部分はアクアシステムで動いている。アクアシステムの利益は会社の運営費として2つに分けて管理をしている。1つは、アクアシステムの中に入れてアービトラージを行っている分。2つ目は、動かしていく資金。動かす資金とは、アクアナイトの買い支え、会社の運営費等。しかしアクアシステムだけではメンバーの皆様へ払い戻しにまかなえる額ではないためグループ毎に分けながら制限をかけた払い戻しを行っている状況。

⑧ バックオフィスのシステムエラーが多いのはなぜか？

回答▶JAのデータがかなり膨大な量になっているため問題がよく発生している。そのため一つの訂正にもかなり時間がかかっているのが現状。会社は比較的システムが安定しているJENCOへデータの移行を検討している。その場合、JENCOのアカウントを持っていなくても問題はなく、同じパスワード、ユーザー名での移行ができるように修正をかけている。一つのシステムに管理することにより問題の解決もスムーズになり、払い戻し作業がより効率的になる。まだ確定ではないが決まり次第報告。

2021年6月30日(水) Jubileeグループ